

令和5年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

保健体育

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 科目「体育」について、(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）で示されている教科「保健体育」科目「体育」の目標の一部である。後の①、②の問いに答えよ。

体育の見方・考え方を働かせ、(ア)を発見し、合理的、計画的な(イ)に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて(ウ)を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の(エ)や体力の必要性について理解するとともに、それらの(オ)を身に付けるようにする。

(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための(ア)を発見し、合理的、計画的な(イ)に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

① 文中の(ア)～(オ)に当てはまる語句を答えよ。

② 下線部について、体育の見方・考え方では、運動やスポーツを自己の適性等に応じた多様な関わり方と関連付けることとされているが、多様な関わり方とはどのようなことか、答えよ。

(2) 次の表は、高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成30年7月）において、各段階の「学びに向かう力、人間性等」の主な表記として示されているものの一部である。(あ)～(お)に当てはまる語句を答えよ。

指導項目	中学校3年・高校入学年次	高校その次の年次以降
ア 共通事項	自主的に取り組もうとする	(あ)に取り組もうとする
イ 公正	勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする	
	(い)なプレイを大切にしようとする	
	相手を尊重し、(う)な行動の仕方を大切にしようとする	
ウ 協力・責任	よい演技を讃えようとする	
	互いに助け合い教え合おうとする	互いに助け合い(え)とする
	自己の責任を果たそうとする	役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする
エ 参画・共生	話合いに貢献しようとする	(お)に貢献しようとする
	一人一人の違いを大切にしようとする	
オ 健康・安全	健康・安全を確保する	

(3) 高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成30年7月）において、体育の授業は原則として男女共習で学習を行うことが求められているが、男女共習の学習を行う際に配慮すべきことを答えよ。また、「バスケットボールは、男女が一緒だと手加減しなければならないから、つまらない。」と考えている生徒に対して、どのような説明が考えられるか、答えよ。

(4) 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）で示されている体育の標準単位数を答えよ。

2 科目「体育」領域「体育理論」について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）の教科「保健体育」科目「体育」領域「体育理論」の「(2)運動やスポーツの効果的な学習の仕方」の内容の一部である。後の①～⑤の問いに答えよ。

ア 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。

- (ア) a 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、b 期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること。
- (イ) 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や c 戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていること。
- (ウ) d 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかること。
- (エ) 運動やスポーツを行う際は、e 気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること。

- ① 下線部 a について、クローズドスキル型の技能を2つ答えよ。
- ② 下線部 b について、調整力を高めるトレーニング及び広背筋の筋力を高めるトレーニングにはどのようなものがあるか、それぞれ答えよ。
- ③ 下線部 c について、スポーツにおける「戦術」とはどのようなことか、意味を説明し、具体例を1つ挙げよ。
- ④ 下線部 d について、技能の上達過程で、上達が一時的に停滞する時期を何というか、答えよ。
- ⑤ 下線部 e について、運動やスポーツを行う際に、気象条件や自然環境の変化により起こりうる危険にはどのようなものがあるか、2つ答えよ。

- (2) 次の文は、「スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展」に関するものである。後の①～④の問いに答えよ。

近代オリンピックを提唱したのは、フランス人の（ア）です。1894年、パリ国際アスレチック会議で彼が提唱したオリンピック復活計画が可決され、この時、第1回大会は1896年に（イ）で開催することや4年ごとに開催すること、国際オリンピック委員会（IOC）を設立することなど、近代オリンピックの基礎部分がこの会議で決められました。

「スポーツを通じて心身を向上させ、さらに相互理解と友好の精神を養い、平和でよりよい世界の実現に貢献する」という理念を「オリンピズム」と呼びます。このオリンピック精神を押し進める運動が（ウ）で、その活動の頂点が「オリンピック競技大会」です。

オリンピックなどの大規模スポーツイベントは大きな経済波及効果があり、行き過ぎた商業主義の弊害もみられるようになってきました。スポンサー企業やメディアが高い視聴率をとることのできる試合を求めようになり、a 観戦者やテレビを意識した競技ルールの変更や開催国以外のテレビ中継のための都合のよい時間に合わせた競技運営が強いられるようになってきました。また、商業主義は勝利至上主義に走る選手や指導者を生み、b ドーピングを行う選手も現れるようになりました。

- ① 文中の（ア）～（ウ）に当てはまる語句を答えよ。ただし、（ア）は人名、（イ）は都市名である。
- ② これまでに日本で開催されたオリンピック（冬季大会を含む）のうち、2021年の東京大会以外の開催年と開催都市を答えよ。
- ③ 下線部 a のようなルール変更の例を1つ答えよ。

④ 下線部 b について、ドーピングが禁止されている理由を 3 つ答えよ。また、1999 年に国際オリンピック委員会（I O C）から独立して設立され、世界各国におけるドーピングの根絶と公正なドーピング防止活動の促進を目的として、国際的なドーピング検査基準の統一やドーピング違反に対する制裁手続の統一等を行うための国際的な機関を何というか、答えよ。

(3) 2011 年に日本で制定された法律で、スポーツの基本理念やスポーツに関する施策の基本となる事項を定めたものを何というか、答えよ。

3 科目「体育」の各領域について、(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 領域「器械運動」について、後の①～③の問いに答えよ。

- ① 高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）で示されている領域「器械運動」の 4 つの運動のうち、「マット運動」以外の 3 つを全て答えよ。
- ② 授業で各運動の技を練習する際、安全確保や技能向上のために行う補助には「直接補助」と「間接補助」がある。どのような補助か、それぞれ説明せよ。
- ③ マット運動の授業において、生徒が伸膝前転で起き上がりやすくするために用具を活用して練習の場を工夫することとした。どのような工夫が考えられるか、答えよ。また、その工夫でどのような動きの変化が見られるか、答えよ。

(2) 領域「陸上競技」について、後の①、②の問いに答えよ。

- ① 入学年次の「短距離走・リレー」及び「長距離走」の授業において、高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成 30 年 7 月）で示されている走る距離の目安をそれぞれ答えよ。
- ② 入学年次の次の年次以降のリレーの授業において、バトンの受渡して大きな利得距離を得るために、必要なポイントを 2 つ答えよ。

(3) 領域「水泳」について、後の①～③の問いに答えよ。

- ① クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライのうち、ターンの局面で両手同時に壁にタッチしなければならない泳法を全て答えよ。
- ② 平泳ぎの足の動きと腕の動きのタイミングを生徒同士で確認する時のポイントについて、次の場面では、足の動きはどのような状態になっているか、それぞれ答えよ。
ア 腕で水をかく間
イ 腕を前方に差し出す間
- ③ プール内での事故を防止するために監視者はどのような位置にいるべきか、答えよ。

(4) 入学年次の次の年次以降の領域「柔道」の授業において、新しい技の習得をグループ学習で行うこととした。評価の観点「思考・判断・表現」とした場合、グループに分かれて生徒が ICT 機器を活用して練習する場面において、ICT 機器の特性を生かした活用方法として考えられる例を、その目的も含めて答えよ。また、活用場面で想定される生徒の姿を高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編（平成 30 年 7 月）で示されている例示を基に、答えよ。

4 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）で示されている科目「保健」の「(2)安全な社会生活」の知識及び技能について述べられたものである。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(2) 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。

(7) 安全な社会づくり

安全な社会づくりには、a 環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。b 交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。

(4) 応急手当

適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。c 応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。

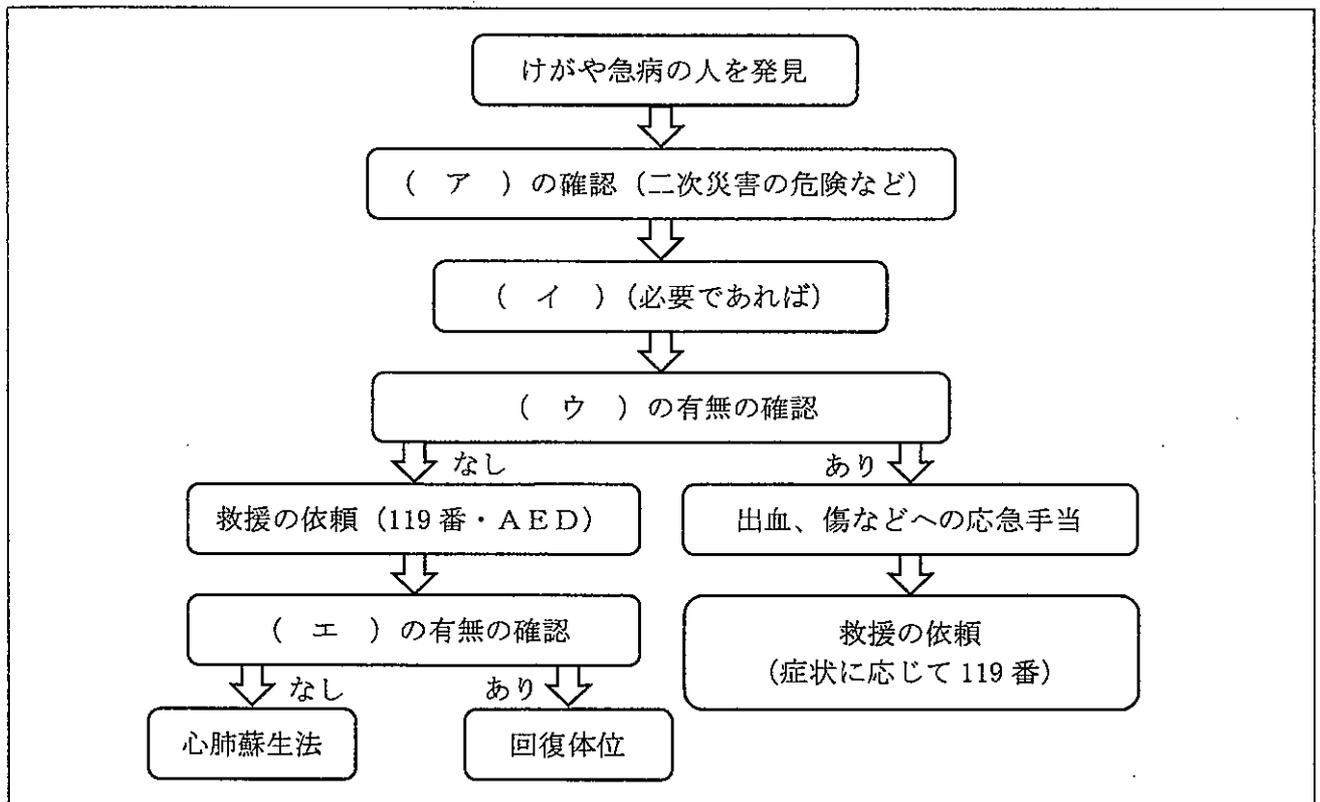
心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うこと。

イ (略)

(1) 下線部 a について、ICT機器を活用して、身近な環境における交通事故防止のための取組について考えを深めさせるには、どのような学習活動が考えられるか、答えよ。

(2) 下線部 b について、交通事故を起こした場合に生じる法的責任を3つ答えよ。

(3) 下線部 c について、以下の表は、応急手当の一般的な手順である。(ア)～(エ)に当てはまる語句を答えよ。



(4) 心肺蘇生法の学習において、実習を行うこととした。実習を取り入れるねらいとして、留意する点を答えよ。

保健体育解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----------	-------	------	--	----	--

(5年)

1

(1)	①	ア		イ		ウ	
		エ		オ			
	②						
(2)	あ		い		う		
	え		お				
(3)	(配慮)						
	(説明)						
(4)							

2

(1)	①							
	②	(調整力)			(広背筋)			
	③	(意味)						
		(具体例)						
	④							
⑤								
(2)	①	ア		イ		ウ		
	②	(開催年)		(開催都市)		(開催年)		(開催都市)
		(開催年)		(開催都市)				
	③							
	④	(禁止理由)						
		(禁止理由)						
(禁止理由)								
	(国際機関)							
(3)								

3	(1)	①				
		②	(直接補助)			
		③	(間接補助)			
	(2)	①	(工夫)			
		②	(動きの変化)			
		③	(短距離走)	(リレー) (1人あたり)	(長距離走)	
(3)	①					
	②	ア				
		イ				
	③					
(4)	①	(活用例)				
	②	(生徒の姿)				

4	(1)								
	(2)								
	(3)	ア		イ		ウ		エ	
	(4)								

以下はあくまでも解答の一例です。

保健体育解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名		(5年)
----------	-------	------	--	----	--	------

1	(1)	ア	課題	イ	解決	ウ	体力の向上		
		エ	多様性	オ	技能	各3点			
	②	する・みる・支える・知る					4点		
	(2)	あ	主体的	い	フェア	う	伝統的		
え		高め合おう	お	合意形成	各3点				
(3)	(配慮)	運動種目によってはペアやグループの編成時に心身の発達状況等について配慮する						など	各4点
	(説明)	体力や技能の程度及び性別の違い等にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて重要な機会であることを説明する						など	
(4)	7～8単位		3点						

2	(1)	①	テニスのサーブ		など	器械運動の演技		など	各3点		
		②	(調整力)	ラダーを使用したステップ		など	(広背筋)	懸垂	など	各3点	
		③	(意味)	相手や周りの状況に応じて最適な技術を選択したり技術と技術を組み合わせたりするための合理的な方法							など
			(具体例)	バレーボールの時間差攻撃							など
		④	プラトール		3点						
⑤	屋外で活動している際の落雷								など		
	突風によるサッカーゴール等の転倒								など		
(2)	①	ア	クーベルタン		イ	アテネ		ウ	オリンピックムーブメント	各2点	
		(開催年)		(開催都市)		(開催年)		(開催都市)		各1点	
	1964年		東京		1972年		札幌				
	(開催年)		(開催都市)								
	1998年		長野								
③	カラー柔道衣の導入							など	3点		
④	(禁止理由)	公平性や平等性を守るため									
	(禁止理由)	選手の健康を守るため									
	(禁止理由)	スポーツの価値を守るため									
	(国際機関)	世界アンチ・ドーピング機構(WADA)									
(3)	スポーツ基本法		3点								

保健体育解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----------	-------	------	--	----	--

(5年)

3	(1)	①	鉄棒運動	平均台運動	跳び箱運動	各3点	
		②	<small>(直接補助)</small> 直接的に体に触れて、正しい運動経過へと導くために体を支えたり、運動の方向等を修正したりすること。 など <small>(間接補助)</small> いつでも補助ができるように補助者がそばにいて安心感を与えたり、着地場所などにマット等置くことによって、落下時や着地時の安全を確保したりすること。 など				各4点
		③	<small>(工夫)</small> マットの下に踏切板等を入れて、傾斜を作る。 など <small>(動きの変化)</small> 回転の速度が上がることで、回転後の腰の位置が高くなりやすくなる。 など				各4点
(2)	①	<small>(短距離走)</small> 100～200m程度	<small>(リレー)</small> (1人あたり)50～100m程度	<small>(長距離走)</small> 1,000～3,000m程度	各3点		
	②	受渡しの時に両走者がスピードにのっている。 など 両走者が十分に腕を伸ばした状態でバトンの受渡しをしている。 など				各4点	
(3)	①	平泳ぎ、バタフライ				4点	
	②	ア	脚を曲げて踵を引き寄せている。 など			各3点	
		イ	足裏で水をけている。 など				
③	プール全体を見渡すことができ、プールの角部分などが死角にならないような位置				4点		
(4)	<small>(活用例)</small> 技のポイントを確認し合いながら練習するために、見本の動画を視聴する。 など					各4点	
	<small>(生徒の姿)</small> 課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 など						

4	(1)	<small>(例)</small> 通学路にある交通事故が発生しやすい危険箇所における事故防止のための対策をカメラ付きPC等で撮影し、その写真や映像を使用したハザードマップを完成させ、グループ毎の発表を行う。 など 5点								
	(2)	刑事上の責任		民事上の責任		行政上の責任	各3点			
	(3)	ア	安全	イ	運搬	ウ	反応(意識)	エ	呼吸	各3点
	(4)	技能を習得することだけでなく、実習を自ら行う活動を重視し、概念や原則といった指導内容を理解できるようにすることに留意する。 など 4点								